



JAPAN EAST REGION

2013-2014 国際・交流事業通信 (第1号) 2013.07.13

ワイズメンズクラブ
国際協会東日本区
国際・交流事業主任
石丸由理
(東京武蔵野多摩クラブ)

ひまわりの花が元気に咲いて、太陽がまぶしい毎日になって参りました
2013-2014 東日本区国際・交流事業主任を務めることになりました
東京武蔵野多摩クラブの石丸由理です
1年間、どうぞ宜しくお願い致します

今年度の基本方針は、『国際・交流事業の事業内容を浸透させ理解を広める事で、国際クラブの一員としてのワイズライフを充実させる』としました。

皆さんと一緒にこの1年間、ワイズライフをエンジョイしたいと思っております。

「2013-2014 国際・交流事業の重点課題

重点課題として、

- (1) IBC/DBC の活動を推進させて、クラブの活性化につなげる事、そして
- (2) 国連との提携事業 Roll Back Malaria Partnership (ロールバック・マラリア・パートナーシップ) の運動への理解を深めて、献金協力を勧める事です。

◎ 今年度の各部国際・交流事業主査の皆さん

北海道部：森 熊治郎 (札幌北) 北東部：涌澤 博 (仙台青葉城)
関東東部：安斎 克成 (東京江東) 東新部：村野 繁 (東京目黒)
あずさ部：久保川 守 (東京セントラル) 湘南・沖縄部：金子 功 (横浜)
富士山部：谷口泰幸 (熱海グローリー)

◎ 今年度の国際・交流事業委員会メンバーの皆さん

委員長：石丸由理 (交流主任/東京武蔵野多摩)
委員：本間剛 (前交流主任/東京江東)
久保川守 (あずさ部主査/東京セントラル)
村野繁 (東新部主査/東京目黒)
金子功 (湘南沖縄部主査/横浜)
利根川恵子 (次期東日本区主任/川越クラブ)

「7月強調月間」RBM(ROLL BACK MALARIA PARTNERSHIP)



RBM (ロールバック マラリア パートナーシップ) は、2010年にスタートの国連と提携した国際プロジェクトで、今年度は3年目に当たります。2010年のWHO報告ではマラリアによる死者は、推定65万5000人で、死者の86%は5歳未満の子供です。このプロジェクトは、子供を中心に多くの死者が出ているマラリアの予防・撲滅運動で、蚊対策として薬剤を浸透させた蚊帳を寄付する赤十字との協働で実施されているものです。今年度東日本区の目標金額は3万スイスフランで、メンバー1人当たり800円になります。1日2円、1ヶ月66円の献金で、1家族がマラリアの心配から安心して休むことができます。Y's MEN INTERNATIONALのHPのトップ画面左 Programmes の中のROLL BACK MALARIA P(RBM)をクリックし、左上のWhat is RBM? のRead more をクリックして頂くと、日本語の入っているプログラムの紹介が見れます。クラブ例会、役員会等でマラリアの影響を考えていただき、各クラブで未来の子供達の為に協賛できるかを、どうぞご検討ください。

☆各クラブ会長は、この事業通信をクラブメンバーにメール転送又は、例会で配布及び回覧していただけますようお願いいたします。

暑い毎日になります。皆さまどうぞおからだ大切にお過ごし下さい！！